

今回4名が質問し、
その要約を掲載しました。

関 誠一郎 議員 10

1. 高齢者に於ける緊急ブレーキシステムに補助を
2. 道の駅かつら移転に伴う土地買収は
3. 石塚浄水場の見直しを

高 橋 裕 子 議員 11

1. おひさま学童クラブ施設整備について
2. 高校生のインターハイ出場への援助について
3. バス停付近の防犯灯設置について

藤 咲 芙美子 議員 12

1. 補聴器購入に補助を
2. 夜間診療ができる医療施設を
3. デマンドタクシーについて
4. 後期高齢者医療被保険者証について

綿 引 静 男 議員 13

1. 町政8年間の総括とこれからの4年間の目標について
2. 水道事業の方向性について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードを
スマートフォンなどで読み込むと、一般質問
時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の
寄稿によるものです。

一般質問

町政を問う

高齢者に於ける緊急ブレーキシステムに補助金を

《町長》 予算化に向けて努力する



せき せい いち ろう
関 誠一郎 議員



こちらから
動画が視聴できます



関 近年、高齢者におけるブレーキ・アクセルの踏み違いによる事故が多発している。

悲惨な事故を少しでも減らす為に補助をして、町民に安心を提供してはどうか。

町長 来年度から予算化に向けて努力する。

道の駅かつら移転に伴う土地買収は

《町長》

この4年でオープンしたい

関 移転の検討

委員会は6回行われたが、橋のルート、構造の話はなく、伊勢畑へ行く取付道路の計画もされないまま、予算だけが先行し、中途半端に閉じられた。

全く空想の委員会だった。

しかし、移転候補地が決まり今年8月に測量費、基本設計、実施設計が業者と契約（8,500万円）されたが、候補地の買収又は確約は取れているのか。

町長 土地の買収はしていない。

関 設計等が全

て仕上がり、業者に全額を支払ったが、土地の買収が出来なかった場合どうするのか。当初町長は、令和7年にオープンしたいと言っていたが、その考えは変わらないのか。

町長 この4年でオープンしたいと考えている。

関 県は工事期間を15年しているとのこと。工事期間内での営業は厳しいのではないのか。

まちづくり戦略課長 県と協議して調整をしている。

石塚浄水場の見直しを

《町長》

30年後に県が水道事業を一体化する

関 今年7月に

職員と町長に庁舎の水を飲んで感想を聞いた。桂在住の職員は飲めなかった。石塚在住の職員は少し臭い。町長は何も感じないとのこと。地球温暖化により、水質に大きな変化が起こり始めている。

そんな中、日立市、常陸太田市、ひたちなか市では市民に安全安心の水の供給を第一に、方向転換を行った。町は現在の供給の転換を考えてはどうか。那珂川の取水場には、12月になると産卵を終えたサケが何千匹と死んでいる。町長は、見に行ったことがあるか。

町長 石塚浄水場の取水口で視覚的に大丈夫かなとの印象があったとしても、浄水場の処理で問題のない水である。

関 今年町への苦情が29件、私が調査した47件全員が臭いという結果がだされた。取水口浄水場の見直しを早急にすべきでは。

町長 町での浄水場の更新は多額の費用を要し、30年後に県が水道事業を一体化にする考えで、それを見込みたい。

関 桂地区・七会地区・常北地区の一部は地下水を飲んでいて。そのことを十分理解して、早急に安心な水の供給を節に願っている。



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員

おひさま学童クラブ施設整備について



こちらから
動画が視聴できます

《町 長》 予算の確保出来る

高橋 児童の思い・保護者目線・感染対策を考慮した上でを考えを伺う。

町長 石塚小のよう利用者が多い学校については、30人程度の四つの集団に分けておくことは、感染対策としても理にかなっていると考ええる。

高橋 施設整備の予算確保は出来るのか。

町長 合併城里の成果として、町の財政は健全になった。国・県の補助等も活用して予算を確保する事は出来る。

高橋 来年度の入学予定を伺いたい。

町長 出生数は71人だったが、入学予定数は三年ぶりに一〇〇名を超える見込みとなっている。

高橋 学童クラブ以外での施設の利用価値はないか。

町長 石塚小周辺は人口の多い地域であるが、集落センターがない。たとえ児童が減少したとしても地域の交流施設として活用するなど有効に使用する事は可能と考える。

《町長》 支援していきたい

高橋 人知れず努力を重ね全国大会に出場している高校生への支援がない。近隣市町村と同様に支援は出来ないか。

町長 支援の手を差し伸べ、近隣市町村並みの制度を作っていきたい。

高橋 町からの支援は、子供達のモチベーションにつながる。小学生からの支援も検討いただきたい。

高校生のインターハイ出場への援助について



城里町路線バス（2018年）

- ・・・街灯があり明るい
- ・・・街灯がない
- 枠なし・・・街灯が遠いなど明るいとは言えない
- ・・・探せなかった

バス停付近の防犯灯設置について

《町長》 補正予算で20カ所分計上

高橋 水戸から城里に入ると、城里町は大変暗いと感じる。今回、町内約75ヶ所を調査したが、バス停付近くらい防犯灯があってもいいのではないか。

町長 今回、補正予算で20ヶ所分計上した。バス停を利用する方の安全を守る為に必要である。

高橋 城里町が少しでも明るい町になるよう願っている。

補聴器購入に補助を

《長寿応援課》 今後協議していく



あじさく ふみこ 議員
藤咲 芙美子



こちらから
動画が視聴できます

藤咲 今度の選挙で、町長はチラシに「補聴器購入補助を始めます」と書いています。

私は補聴器購入補助の実現のため、次のことを提案をする。
①聴力レベルが40デシベルになると、日常生活に不便をきたすので補助年齢は問わないこと。

②聴力低下によって買い替えが必要になる。補助は複数回とすること。

③購入費の補助額は、半額又は全額の補助とすること。

④医師の診断書は必要としないこと。
⑤対象は所得制限なしとすること。

長寿応援課長 ①補助年齢は65歳からとする
②補助回数については、耐用年数5年を経過した場合、

再度申請できる。

③補助額は1万円からとする
④医師の診断書は必要としない
⑤所得制限なしで補助を行う。

そのほか、細かいところはこれから決めていく。

藤咲 年齢制限と補助金額について、再度検討してほしい。
長寿応援課長 今後協議していく。

夜間診療ができる医療施設を

《町長》 新規の病床設置は許可されない

藤咲 身近な医療機関の有無は安心・安全なまちづくりにとって極めて重要だ。石塚地域は、夜間無医地区となっている。安心して子育てするには、夜間診療が求められる。

町長 城里町が属する水戸医療圏は、入院ベッド数が過剰とされている。新規の病床設置は許可されない。

後期高齢者医療被保険者証について

《健康保険課長》 今後は、丁寧な説明を心がけていく

藤咲 後期高齢者医療被保険証が2回続けて交付された。なぜ連続しての交付なのか説明がない。丁寧な説明が必要だ。

健康保険課長 国の制度改正により、10月1日からの保険証を9月にも送付した。
今後は更に分かりやすく丁寧な説明を心がけていく。



デマンドタクシーについて

《町長》町外まで行くことを検討

藤咲 選挙のチラシで、免許返納後の不安に対し「町外まで行ける格安タクシーの導入」「増車によるデマンド交通の使いやすさ」について記している。町外利用ができるとあるが、それは復路も可能なのか。町外とは県内どこでも対象になるのか。

町長 様々な公共交通の福祉タクシーなどの充実手段がある。この制度を組み合わせ、安く便利で安心な体系を作り上げていく。デマンドタクシーを増車し、町外まで行くことを検討している。



わたひき しずお 議員
綿引 静男

町政8年間の総括とこれからの4年間の目標について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 財政は健全化の道を歩んでいる

綿引 これまでの8年間に、どのような成果があったか。

町長 本庁舎、環境センター、七会診療所、桂中体育館など、合併建設計画で掲げられた施設の整備がほぼ完了し、基幹設備の整備を終えることができた。

また、財政は着実に健全化の道を歩んでいる。

綿引 そのような成果の中で、やり残したことや課題についてどのように認識しているか。

町長 停止してしまつた事業や課題も残っていると認識している。ふるさと納税の強化、停電しても安心して避難できる避難所づくり、狭あい道路の解消、舗装されていない私道の公道化、農業集落排水の下水道への転

換、道の駅かつらの建て替え事業などの課題がある。

綿引 今回の選挙戦で得られた町民の意見の中で、参考になったことはあるか。

町長 ゴミの回収時、庭木の枝をゴミ袋に入れずに出すとか、家具類の自宅訪問回収など、細かな制度の改善に取り組みたい。住民と直接意見交換することは有意義であり、得られたことが多かったと思う。



綿引 これからの4年間の目標や決意は。

町長 道の駅かつらの建て替え事業、狭あい道路の解消、河川の整備、停電しない避難所の整備などの課題について、危機感・緊張感をもつて一つ一つ仕事を進めていきたい。

水道事業の方向性について

《町長》 県の水道事業統合に協力したい

綿引 町の水道事業の経営状況は。

町長 健全経営の水準とされる経常収支比率は100%を上回っているが、料金回収比率は100%を下回っている。

今年度については電気料金の急激な上昇によって赤字となる見込みだが、繰越利益剰余金を7億円保有しているため赤字を埋めることはできる。

綿引 人口減少社会でも安全で強靱な水道を持続させることを目的とした茨城県水道ビジョンについてどのように考えているか。

町長 県全体で水道事業を統合して効率化を図ることにより、一般会計から水道会計への持ち出しを減らすことができれば、町が提案に協力したい。

町の浄水場が老朽化していくこともあり、早期の統合を考えている。



石塚浄水場